活動報告書

@青山学院大学障害学生支援センター

聴覚障がい学生支援

(写真:PCノートテイクを行う支援学生)

手書きノートテイク

語学に関する授業や実験・演習の際に行なっています。語学の授業では、手書きのため情報量は少ないながらも、内容を即座に文字に起こしやすいため、タイムラグを抑えることができています。実験や演習はPCの持ち込みが出来ない教室で行うため、手書きノートテイクで支援をしています。

文字起こし

オンデマンド配信された授業動画の文字起こしを行っています。この支援の最大の利点は、より詳細で正確な情報を提供できる点です。作業は連携入力ではなく、動画を複数のパートに分け、支援する学生達がそれぞれの担当箇所の音声を文字に起こします。文字起こしの際は、セクションごとに細かく分けて時間を記載したり、改行を活用したりすることで、利用学生が読みやすいよう工夫をしています。

また、音声認識デバイスを使用する方法も取り入れています。この方法は手軽に取り組める一方で誤訳や読みづらさといった短所があるため、適切な訂正や句読点を置くことで、よりよい文字起こしを心がけています。

対面PCノートテイク

基本的に2人1組の支援学生が、授業内でT-TAC Caption2を活用して連携入力を行います。授業の担当教員と支援者が連携し、事前に授業資料が受け取れる場合はそれを参照しながら支援を行います。支援者と同じ空間で活動を行うため、授業プログラムの変更にも柔軟に対応でき、安定した支援を提供することが可能です。

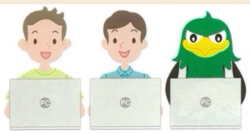
遠隔PCノートテイク

担当教員に専用のマイクを持っていただき、T-TAC Caption2を通して共有された教室の映像と音声を、オンラインで2、3名の支援学生によって連携入力を行う支援です。対面で支援ができる学生がいない、または少ない場合でも、オンライン上の支援のため、遠隔地のキャンパスの学生も支援に参加することができます。

この仕組みによって、キャンパスを超えた縦横の連携による支援体制を確立しています。しかし、映像や音声の乱れが発生してしまう場合があるため、現在もインターネット環境の改善に努めています。

〔利用学生の声〕

ゼミや研究室でのミーティングにおいて、UDトークやVUEVOというアプリを活用して音声認識による情報保障を行っていただいています。人手をかけずに迅速に情報を提供することができるため、よりスムーズで効率的なコミュニケーションができるようになりました。



視覚障がい学生支援

ポイントテイク

支援に入った授業では、図を描く機会が多く、うまくいかないこともあり、少し大変でした。しかし、わかりやすくまとめることを心がけて、支援している方から感謝していただけた時はとても嬉しかったです！この支援を通じて、人に伝える際に「どうすれば分かりやすくなるか」を考える能力が向上した気がします。

〔利用学生の声〕

履修していた講義中には配布資料がなく、全て板書で行われるものがいくつかありました。私は黒板の文字を認識することが難しいため、ポイントテイクの支援をお願いすることにしました。支援者の方には、いつも丁寧に内容をまとめていただき、板書の仕方に要望はあるかなど、毎週細かく気にかけて頂きました。授業についていく上でとても助かり、心強かったです。

車いす学生支援（移動支援）

車いすを使用する学生の授業間の移動や、駅から学校までの移動をお手伝いしました。

具体的には、エレベーターのボタンを押したり、段差の少ない道を選んで案内したり、雨の日や寒い日には、レインコートやアウターの脱ぎ着をサポートしました。

発達障がい学生支援

発達障がいの学生さん本人と話し合い、その方に合った支援方法を考えました。学校生活の中での困っていることを共有してもらい、そこからアドバイスできることや、お手伝いできることを面談形式で提案しました。具体的には、期末や中間のスケジュール管理や、レポートの書き方についてアドバイスを行いました。

《ノートテイク体験会》

養成講座の他に、定期的に1時間程度のノートテイク体験会を開催しています。「支援活動に参加したいが、ノートテイクの経験がなく不安」という声に応え、支援活動における基礎知識に加え、ノートテイクで活用する「連携入力」の体験も行えます。また、既に支援に携わっている学生もスキルアップのために参加することができます。

《学期末振り返り会》

各学期末には、支援学生たちと利用学生たちでその学期に行った支援活動の振り返りを行います。「ここは良かった」「ここは改善が必要」など、活動の感想や良かった点、反省点を共有することで、学生間の連帯感を高めています。振り返りで得られた意見や気づきは、次学期以降のよりよい支援活動に活かしています。

青山学院大学
AOYAMA GAKUIN UNIVERSITY

TEL:03-3409-6348
Email:agu-support@aoyamagakuin.jp